

令和 2 年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事業報告書

目次

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業.....	2
1 安心生活見守り事業.....	2
(1) 安心生活見守り事業	2
2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）	8
3 地域福祉活動計画の推進	10
(1) 第3次地域福祉活動計画推進事業	10
4 小地域福祉活動.....	10
(1) 小地域福祉活動計画推進研修会（策定4地区）の開催	10
(2) 小地域福祉活動計画の策定	11
(3) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	11
(4) 地区社会福祉協議会活動支援事業	12
(5) 友愛訪問活動への支援	13
5 ボランティア活動の推進	14
(1) ボランティアセンター事業	14
(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進	15
6 福祉教育（ふくし共育）推進事業.....	15
(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業	15
(2) 広報充実事業	17
(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ	17
II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	17
1 総合相談事業の実施.....	17
(1) 生活困窮者自立支援事業	17
(2) 心配ごと相談事業	18
(3) 福祉金庫貸付事業	19
(4) 生活福祉資金貸付事業	19
(5) 墓地清掃サービス事業	21
2 日常生活自立支援事業.....	21
(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	21
III 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～.....	22
1 介護保険サービス	22
(1) 訪問介護事業	22
(2) 受託訪問介護事業の推進	22
2 障害福祉サービス	22
(1) 障害福祉サービス事業	22
3 その他のサービス	23
(1) 日常生活用具貸与事業	23
(2) リフト付き自動車貸出事業	23
(3) 軽トラック貸出事業	23
(4) 福祉サービス適正化事業	23
(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度	23
IV 法人の基盤強化事業.....	24
1 福祉のまちづくり市民参加運営事業.....	24
(1) 理事会・評議員会の開催	24
(2) 会員加入の推進	28
2 社会福祉法人連絡会.....	28
(1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容	28
(2) 社会福祉法人連絡会の参加法人	28

3 基金・寄付事業.....	29
(1) 善意銀行運営事業	29
(2) 大田原市社会福祉協議会寄附	31
(3) 地域福祉基金造成事業	32
(4) 赤い羽根共同募金事業	32
3 その他	34
(1) 経営理念の策定について	34
(2) 被表彰者について	34

令和2年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

令和2年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の3つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

平成30年度に大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定した、「**お**たがいを**お**もいやり**た**のしく**わ****ら**ってくださるまち大田原」を基本理念として「市民参加の地域福祉推進」を目的として、地域との連携のもと計画の推進に取り組んでいます。

住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」（互助・共助）を進めるための「小地域福祉活動計画」策定に平成30年度から取り組み、平成31年度は、5地区が策定作業を行ない、令和2年度からは4地区が取り組んで、市内全地域での策定を目指しています。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に見合った必要な支援を行っています。

他の取り組みとしては、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）」、福祉委員による小地域ネットワーク活動、ふくし共育推進事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動、介護保険サービスや障害福祉サービスなどを実施しました。

また、令和2年に入り、世界的に新型コロナウイルス感染が拡大しており、緊急の資金貸付など市民への相談支援活動に取り組みました。

=令和2年度重点事業=

- (1) 第3次地域福祉活動計画
- (2) 小地域福祉活動計画
- (3) 生活困窮者自立支援事業

事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和2年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。

コロナ禍で、訪問での見守りに代わり外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

見守り隊員数	2,482人
利用者数	1,475人
〈内訳〉	
ひとり暮らし	760人
高齢者世帯	295人
日中ひとり	260人
日中高齢者世帯	80人
その他	80人

見守り件数	91,666件
〈内訳〉	
1 声掛け安否確認	33,499件
2 買い物支援	801件
3 緊急時の通報	30件
4 簡単な修繕	241件
5 ゴミだし	924件
6 役所の手続き	471件
7 外からの見守り	52,527件
8 外出手伝い	358件
9 家事手伝い	215件
10 その他	2,600件

① 各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

隊の概要

発足式年月日	平成21年3月16日
自治会数	12自治会
見守り利用者数	102人
隊員数	96人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
7月14日	書面開催	第1回隊長会議（活動報告、活動計画等）	17人
12月25日		絵手紙（年賀状）送付 黒羽小学校より	108人
毎月		助け合い隊便りの発行配布	

ii) 佐久山おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成22年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	158人
隊員数	122人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
5月23日	資料配布	第1回隊長会議（隊員研修、茶話会、会食会、助成金交付）総隊長、主任で隊長宅訪問	17人
8月3日		チーム会議（茶話会、会食会、支え合いマップづくり）	9人
12月21日		チーム会議（手づくり弁当配付、講演会）	11人
3月5日		チーム会議（新旧隊長会議、役員改選、事業計画）	7人

iii) 紫塚地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	93人
隊員数	78人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
4月30日	資料配布	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	—
6月19日		推進会議（活動報告、活動計画）	33人
8月4日		PR兼安否確認として、見守り隊のロゴ入りマスク配布	—
10月15日		経塚支え合いマップづくり	14人
10月26日		紫塚小学校のウォークラリーに参加してPRを行う	—
10月31日		紫塚支え合いマップづくり	10人
12月9日		隊員研修会（認知症サポーター養成講座）	17人
3月3日		第1回隊長会議（活動報告・活動計画他） ※協議体リーダー会議と合同開催	10人

iv) ちかその思いやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	123人
隊員数	126人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
4月6日	資料配布	推進会議（活動報告、活動計画）	126人
4月24日		第1回チーム会議	6人
6月2日		第2回チーム会議	5人
7月1日	見舞袋配付	会食会⇒「コロナ見舞い」マスク等を利用者に配付	122人
9月3日		第2回隊長会議（認知症学習について）	18人
11月6日		認知症サポーター養成講座	26人
11月14日		認知症によるひとり歩き者への声掛け訓練	31人
2月18日		第3回チーム会議	7人
3月22日		新隊長会議（隊長引継ぎ等）	21人

v) 西部地区あったか思いやりの会

会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	181人
会員数	119人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
5月	資料配布	隊長会議（事業計画・助成金）	—

vi) 須賀川地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	113人
隊員数	101人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
5月12日	書面開催	第1回隊長会議（地区活動助成金、見守り組織の確認）	—
5月12日	書面開催	推進会議（委嘱状交付、決算・事業報告、事業計画・予算）	—
7月22日		第2回隊長会議（事業計画・予算の確認、見守り状況）	22人
10月14日		須賀川地区防災研修会（地域防災と避難について）	27人
3月	書面開催	第3回隊長会議（今年度の活動実績・決算見込み、次年度事業計画・予算案、年度初めの引継）	—
		須賀川地区見守り隊便り発行（年6回）	—

vii) ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	97人
隊員数	229人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
4月22日		第1回チーム会議（役員改選、事業報告・決算報告、事業計画・収支予算、隊長会議）	5人
5月14日	書面開催	第1回隊長会議（隊員証・委嘱状交付、本隊の役員、事業報告、事業計画、ふれあいお楽しみ会、活動助成金）	
7月12日	資料配布	第2回隊長会議（湯津上中学校生徒「高齢者訪問活動」、湯津上地区文化祭でのPR、ゆうあい広場）	
3月13日	資料配布	第3回隊長会議（事業報告、事業計画、本年度見守り状況、隊員名簿）	

viii) 東部地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	109人
隊員数	562人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
5月28日	書面開催	第1回隊長会議（事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等）	34人
7月10日		推進会議（委嘱状の交付等）、介護事業に関わる講話	37人
8月26日		子どもの見守り関係会議（児童の見守り体制等）	39人
9月24日		第2回隊長会議（見守り活動状況、生活支援体制整備事業の推進、啓発用リーフレットの作成等）[隊長会議後、小地域福祉活動計画推進のための特別部会を開催]	33人
8月29日		認知症サポーター養成講座	52人
2月25日	書面開催	第3回隊長会議（次年度事業計画案、見守り事業・生活支援体制整備事業の推進、各種報告書類等）	34人

ix) 両郷地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会 (9地区隊)
見守り利用者数	103人
隊員数	179人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
7月22日		第1回隊長会議(新体制の為、見守り活動について確認等)	26人
3月18日	書面開催	第2回隊長会議 (本年度実績、決算書、次年度事業計画、予算書等)	—
7月～12月		居場所開設 (全6回)	延べ58人

x) 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会 (18地区隊)
見守り利用者数	143人
隊員数	251人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
4月5日		上町地区説明会 (安心生活見守り事業、生活支援体制整備事業)	23人
4月12日		余瀬地区、桧木沢地区説明会 (〃)	39人
5月	書面開催	第1回隊長会議 (事業報告・計画、決算報告・予算書)	—
6月	書面開催	推進会議 (委嘱状交付、研修会)	—
8月28日		大豆田地区説明会 (安心生活見守り事業、生活支援体制整備事業)	23人
10月28日		栃木県生活支援コーディネーター養成研修 (川西地区見守り隊の取り組み発表)	—
12月20日		桧木沢ふれあい直売所 ふれあい祭り (自主財源確保)	—
通年		おやまだいおひさまカフェ (10回実施)	延べ272人
通年 (移動カフェ)		築地カフェ (13回)、上町地区PPKKの会 (2回)、上町地区たんぼぼ会 (2回)、下町2区カフェ (2回)、桧木沢地区カフェ (1回)、桧木沢サイブレス地区カフェ (3回)、大豆田地区カフェ、寒井地区カフェ、余瀬地区カフェ、蜂巢地区カフェ、	延べ307人
毎月発行		川西地区見守り隊便り 48号 ~ 59号	—

xi) 金田地区おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	27自治会（32地区隊）
見守り利用者数	145人
隊員数	387人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
4月16日		第1回チーム会議	10人
4月21日	資料配布	新旧隊長会議（事業報告、事業計画、見守り活動等）	—
6月23日		推進会議（事業報告、事業計画、見守り活動、総隊の体制）	52人
10月13日		隊員研修会（金田南地区） 「高齢者の相談窓口、介護予防、防犯について」	32人
10月27日		隊員研修会（金田北地区） 「高齢者の相談窓口、介護予防、防犯について」	49人
3月10日		第2回チーム会議	10人
3月16日	資料配布	第1回隊長会議（事業報告、事業計画、新年度体制報告依頼）	—

xii) 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	113人
隊員数	232人

令和2年度事業経過

月 日	事業内容		参加人数
5月12日	資料配布	第1回チーム隊長会議	—
5月19日～21日		主任による見守り利用者宅戸別訪問	101人
6月24日～25日		隊員と主任による見守り利用者へのマスク配布	101人
7月1日～11日		新規見守り利用者掘り起こしのための個別訪問	35世帯
7月30日		第2回チーム隊長会議	18人
11月26日		第3回チーム隊長会議（事業報告、他）	15人
1月28日	資料配布	第4回チーム隊長会議（新年度事業計画、他）	—
3月15日		見守り活動事前説明会（野崎NT地区）	18人
3月25日	資料配布	第5回チーム隊長会議	—
3月28日		見守り活動事前説明会（中薄葉・平沢地区）	9人
3月29日		見守り活動事前説明会（上薄葉地区）	8人
6月～12月		居場所活動（野崎NT・上薄葉・薄葉団地）	延べ296人

② 安心生活見守り事業 会議等

月 日		内 容	会 場
2月15日	書面開催	安心生活見守り事業推進会議	—

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和2年度配布本数 34本

2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。コロナ禍の中で令和2年度は、開催ができなかった会議が多数ありましたが、協議体だよりの発行や、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせた支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

○各地区の状況

①東部地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
9月3日	人材データバンク、小地域福祉活動計画の進捗状況、啓発用リーフレットの作成と配布作業、ささえ愛サロンの再開等について	21人
12月11日	地域課題のまとめ、今後重点的に取り組む課題、新・助け合いゲームの実施、支え合いの地域づくりハンドブック〈仮称〉の作成等について	21人

②西部地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
8月18日	小地域福祉活動計画の策定及びアンケートについて	14人
11月25日	策定スケジュール及びアンケート調査依頼について	14人

③紫塚地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
5月11日	今後の進め方についてアンケート郵送対応	—
7月17日	小地域福祉活動計画を推進する、仕組みづくり・人づくり・機会づくりの各グループリーダーとサブリーダーを選出	19人
9月25日	グループワーク（仕組みづくり・人づくり・機会づくり）	23人
11月20日	グループワーク（仕組みづくり・人づくり・機会づくり）	24人
3月3日	協議体リーダー会議（隊長会議と合同開催）	10人

④金田地区協議体

月 日	主な内容		参加人数
7月7日		小地域福祉活動計画策定準備委員会	10人
8月28日		研修会「金田をみつめ、金田をつくる」	42人
10月6日		地域課題の洗い出し	25人
12月1日		目指す地域像について	24人

⑤親園地区協議体

月 日	主な内容		参加人数
11月27日		親園地区協議体メンバー会議研修会事前打合せ	6人
12月18日		小地域福祉活動推進研修会・協議体研修会	25人
小地域福祉活動計画策定委員会と合同開催			

⑥野崎地区協議体

月 日	主な内容		参加人数
5月12日	資料配布	実現のための主たる目標設定書	—
7月30日		実現のための主たる目標設定について	24人
9月24日		主たる10の目標の具現化について	21人
11月26日		主たる10の目標の具現化について	22人
1月28日	資料配布	主たる目標具現化についての絞り込み	—
2月15日		薄葉第二団地で毎週月曜日移動販売スタート	1回、15～30人
2月17日	資料配布	主たる目標具現化についての絞り込み	—

⑦佐久山地区協議体

月 日	主な内容		参加人数
6月26日		現状把握と課題抽出	18人
9月16日		課題に対する対応策の協議	20人
10月23日		長野県安曇野市社協へ意見交換及び視察	6人

⑧湯津上地区協議体

月 日	主な内容		参加人数
9月28日		(1)講話「大田原の災害について」市危機管理課、(2)湯津上地区ハザードマップの配付、(3)湯津上地区「知恵袋バンクの活用について」、(4)新型コロナウイルス感染防止について	17人
6月18日～ 3月25日		ささえ愛サロン「言の葉喫茶」 毎週木曜日 26回開催	

⑨黒羽地区協議体

月 日	主な内容		参加人数

⑩川西地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
通年	おやまだい未来カフェ（情報交換会）8回	43人
3月29日	おやまだい未来カフェ（勉強会）	19人

⑪両郷地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
6月22日	前回話し合い内容振り返り、現在気になっていること：移動販売車、学童など	13人
10月12日	前回話し合い内容振り返り、地域の学童について	13人

⑫須賀川地区協議体

月 日	主な内容	参加人数
6月16日	小地域福祉活動計画、地区の課題と対応、見守り事業への協力	12人
9月22日	買い物ツアー、研修会、地区の課題解決に向けて	11人
1月	小地域福祉活動計画の評価（アンケート）	26人
3月	書面開催 今年度の事業・決算報告、来年度の事業計画・予算案、次年度の組織、小地域福祉活動アンケート結果	—

3 地域福祉活動計画の推進

(1) 第3次地域福祉活動計画推進事業

第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和元年度～令和5年度）の2年目の取り組みとして、取組状況調査を下記のとおり実施しました。

記

- 1 目的 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に揚げた内容について、計画の現在の取組状況を調査し、進行状況を把握するとともに、全体の活動の達成度や現在の課題等を把握し、新たな活動につなげていくこと。
- 2 調査対象 住民11件、施設・団体40件、市社協16件、市18件
- 3 調査期間 令和2年8月3日（月）～9月16日（水）
- 4 回答方法 取組目標ごとに5段階で評価・意見聴取

※令和2年度地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会は、書面開催となり、取組状況調査まとめについて、委員から意見聴取を行ないました。

4 小地域福祉活動

(1) 小地域福祉活動計画推進研修会（策定4地区）の開催

小地域福祉活動に取り組む地域のリーダーが、これからの地域福祉の方向性を見据えながら将来に向けた目指す地域を創るため、主体的に地域福祉活動を進める意欲を高めることを目標に研修会を行いました。

日 時：令和2年8月17日（月） 午後1時30分～4時40分

場 所：大田原市役所 市民協働ホール

参加者：40名（西部地区・金田地区・川西地区・両郷地区・地区担当職員）

内 容：・報告「計画策定の取り組み報告」～令和元年度計画策定地区より～

紫塚地区社会福祉協議会 会長 藤沼久子氏

黒羽地区社会福祉協議会 会長 佐藤富夫氏・事務局 矢澤秀夫氏

・講話「自分たちの地域は自分たちが創る～お互いさまの地域づくり～」

講師：国際医療福祉大学 林 和美 教授

・地区ごとの話し合い

(2) 小地域福祉活動計画の策定

令和2～3年度の2年間で西部地区、金田地区、川西地区、両郷地区の4地区の社協において小地域福祉活動計画の策定に取り組みました。コロナ禍において会議の延期が続いており、令和3年度までに策定を終える予定です。

① 金田地区の取り組み

月 日		主な内容	参加人数
7月7日		小地域福祉活動計画策定準備委員会	10人
8月28日	※	第1回策定委員会：研修会「金田をみつめ、金田をつくる」・策定委員会の設置、委員長・副委員長の選出	42人
10月6日	※	第2回策定委員会：課題の洗い出し	25人
12月1日	※	第3回策定委員会：目指す地域像について	24人

※協議体会議と合同会議

(3) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により172名が活動を行ないました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行ないました。

① 福祉委員活動の地区ごとの連絡網を作りました。

② 福祉委員研修会の開催

地域福祉の推進役である福祉委員の役割を理解すること、地域の福祉課題に関心を持ち、地域福祉活動につなげるきっかけとすることを目的に研修会を開催しました。

日 時：令和2年12月15日（火）午後1時30分～3時

場 所：大田原市総合文化会館 ホール

参加者：63名

内 容：・福祉委員活動について

・住み慣れた地域で生活していくために

・事例をもとに考える～地域に目を向けてみよう～

(4) 地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会员一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

① 活動助成の内容

地区社会福祉協議会(団体名)	助成額	活動内容
大田原東部地区社会福祉協議会	536,250円	東部地区小地域福祉活動計画の推進、ふれあいひろば、食事サービス、「東部地区社協だより」の発行
大田原西部地区社会福祉協議会	633,500円	西部地区小地域福祉活動計画の策定(令和2～3年度)、あつたか広場、食事サービス、老幼交流事業、「あつたかだより」の発行等
紫塚地区社会福祉協議会	287,500円	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進、ふれあい紫広場、食事サービス、視察研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等
金田地区社会福祉協議会	688,500円	金田地区小地域福祉活動計画の策定(令和2年度～3年度)、食事サービス、研修会 等
親園地区社会福祉協議会	213,750円	親園地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社会福祉協議会	423,000円	野崎地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	162,500円	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、「佐久山社協だより」の発行、佐久山地区外出支援事業
湯津上地区社会福祉協議会	245,500円	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、世代間交流事業、地区社協だより「ゆうあい」の発行
黒羽地区社会福祉協議会	241,000円	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	282,750円	川西地区小地域福祉活動計画の策定(令和2年度～3年度)、食事サービス、「川西地区社協だより」の発行、ふれあい敬老会の支援
両郷地区社会福祉協議会	129,750円	両郷地区小地域福祉活動計画の策定(令和2年度～3年度)、学校安全パトロール、食事サービス、地区社協だより発行、見守り支援 等
須賀川地区社会福祉協議会	117,500円	須賀川地区小地域福祉活動計画の推進、食事サービス、見守り活動支援 等
合計	3,961,500円	

※ 令和2年度は新型コロナウイルスのため中止したものもあります。

② 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配布活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

No.	地区社協(団体名)	令和2年度 食事数	実施回数	対象者数	前年度 食事数
1	東部地区社会福祉協議会	319 食	6 回	52 人	669 食
2	西部地区社会福祉協議会	0 食	0 回	69 人	2,175 食
3	紫塚地区社会福祉協議会	1,667 食	30 回	69 人	2,130 食
4	金田地区社会福祉協議会	533 食	24 回	25 人	616 食
5	親園地区社会福祉協議会	209 食	18 回	13 人	250 食
6	野崎地区社会福祉協議会	421 食	48 回	12 人	482 食
7	佐久山地区社会福祉協議会	427 食	15 回	36 人	908 食
8	湯津上地区社会福祉協議会	422 食	10 回	51 人	487 食
9	黒羽地区社会福祉協議会	373 食	6 回	65 人	600 食
10	川西地区社会福祉協議会	554 食	6 回	98 人	437 食
11	両郷地区社会福祉協議会	186 食	5 回	40 人	366 食
12	須賀川地区社会福祉協議会	209 食	4 回	54 人	198 食
13	大田原市ボランティア連絡協議会黒羽支部	565 食	2 回	284 人	562 食
合計		5,885 食	174 回	868 人	9,880 食

(助成総額 2,354,000円：共同募金配分)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため休止した期間があった。また、「コロナ対策一時金」として（感染防止のためのマスク・消毒剤等の購入）のための助成を行った。

(5) 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブが取り組んでいる、友愛訪問活動に助成を行ないました。(大田原市いきいきクラブに50,000円助成)

5 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター事業

① 中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

令和2年度「中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原」講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、オンラインでのふくし共育（福祉教育）について研究、情報交換を行いました。

テーマ：中高生が考えるふくしのまちづくり

実施方法：Zoomによるオンラインでの会議 7回開催（18：30～20：30）

内容：新しい生活様式を取り入れた中高生の居場所づくりの検討

委員：大石 剛史 氏、星 雅人 氏、大高 久尚 氏、鎗木 哉文 氏（車いす当事者）、蜂須賀 瑚羽 氏（LGBT当事者）、室野井 和司（発達障害当事者）

②市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないました。

③ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350 円	1,040 万円	4,094 人	4,638 人
天災・地震補償プラン	500 円	1,040 万円	142 人	51 人
計			4,236 人	4,689 人

④ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行ないました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行ないました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・コーディネート
	団体数	登録者数		
令和2年度	139 団体	3,603 名	6 名	37 件

⑤ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	7 台	マイク・スピーカー	0 回
アイマスク	0 枚	電源コード・ドラム	0 回
点字盤	2 台	プロジェクター	0 回
テント	2 回	調理器具	0 回
高齢者擬似体験用具	0 台	その他	3 回

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

① 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平常の活動として開催しました。

実施日 令和2年8月6日（木）午後3時30分～5時

会 場 大田原市役所301会議室

協議内容 ・令和元年東日本台風（台風19号）への対応
・情報交換他

参加団体 民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、IUHWボランティアセンター、市（福祉課、危機管理課）、市社会福祉協議会

6 福祉教育（ふくし共育）推進事業

(1) 福祉教育（ふくし共育）推進事業

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育（ふくし共育）を推進しました。

① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成29年度に第6回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（585部）、4年生（601部）、及び中学1年生（658部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

② 学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行ないました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	協力人数	内 容
1	9月22日	須賀川小	4年生	6	2	認知症にやさしい地域を考えよう
2	10月22日	佐良土小	4年生	7	1	認知症にやさしい地域を考えよう
3	11月24日	黒羽小	5年生	13	4	認知症にやさしい地域を考えよう
4	11月27日	金田北中	生徒会役員 環境福祉委員	35	1	赤い羽根共同募金
5	12月16日	金田南中	2年生	21	3	地域で活動する方のお話を聞こう
合 計				82	11	

(2) 広報充実事業

① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の発行、裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だ
いすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容の
紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努め
ました。(年6回市内全戸配布)

また「おおたわら子ども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、
また、地域のつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛け、児童・生
徒に配布しました。(3月に小中学校に配布)

② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ (URL : www.ohtawara-shakyo.or.jp/) により、本会の
活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程実習生を受け入れました。
実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員の OJT¹等資質の向上や社協の評価
にもつながりました。

国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科

6名 8月17日～8月28日

6名 8月17日、18日、9月2日～9月11日

佐野日本大学短期大学総合キャリア教育学科

1名 8月17日～9月11日

II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会的
孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ
継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れ
るよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの
早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

¹ OJT : **On-the-Job Training** (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) または現任訓練 (げんにんくんれん) とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

○相談件数（※令和2年度に新たに受け付けた件数です。）

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障がいのこと	1件	9	地域との関係について	0件
2	住まいのこと	1件	10	家族関係・人間関係	2件
3	収入・生活費のこと	54件	11	子育て・介護のこと	0件
4	家賃やローンのこと	10件	12	ひきこもり・不登校	0件
5	税金や公共料金のこと	2件	13	DV・虐待	0件
6	債務について	6件	14	食べる物がない	0件
7	仕事探し、就職について	2件	15	その他	1件
8	仕事上の不安やトラブル	0件		計	79件

○支援実施延べ回数※令和3年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	199回
2	訪問同行・支援	21回
3	面談	125回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	6回
5	他機関との電話照会・協議	7回
6	その他	2回

(2) 心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごととの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場 所
大田原	毎週金曜日	9:00～12:00	市役所A別館
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター
黒 羽	毎月第3木曜日	9:00～12:00	社協黒羽支所

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数25件）相談者19名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	5	職業・生業・就職		家族	2	健康衛生		医療	3	人権・法律	1
年金		住宅	2	結婚		離婚	1	事故	2	財産	1
精神衛生	2	児童福祉		教育・青少年		心身障害		老人福祉		母子福祉	
その他	1	苦情	5								

その他の相談件数 163件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付、見守り関係を除く）

(3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円または3万円を限度に12ヶ月無利子月賦償還する制度として実施しています。

○貸付・償還状況（令和2年度）

前年度末残額 A		1, 216, 565 円	前年度償還未済額 1, 146, 970 円
令和2年度	貸付金額 B	1, 175, 000 円	新規貸付件数 58 件
	償還金額 C	1, 061, 000 円	償還完了件数 32 件
	不納欠損額 D	155, 000 円	不納欠損件数 9 件
	預金利子 E	12 円	預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1, 102, 577 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

相談件数 130件

※年度末貸付償還未済額は 1, 175, 000円

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況（令和2年度）

貸付	新規貸付 1件	福祉資金（障害者自動車購入費）
償還	償還中 48件	総合支援資金9件 福祉資金福祉費10件 福祉資金緊急小口資金11件 教育支援資金12件 離職者支援資金2件 臨時特例つなぎ資金3件 福祉資金緊急小口資金(台風特例)1件
	償還完了	
	償還免除	
相談	75件	貸付に関する相談

○生活福祉資金（特例貸付新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入の減少があり生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等特例貸付を実施しました。

◆受付件数（※令和2年4月～令和3年3月まで）

	コロナ関係 相談者数		緊急小口資金		総合支援資金			住居確保給付金		生活福祉資 金相談者数	福祉金庫		フードバンク 利用者
	相談数	新規申請 (内)追加申 請	相談数	新規申請 (内)延長申 請	再貸付	相談者数	申請者数	相談	貸付				
4月	112	67	48	3	22	2		18	1	6	11	6	5
5月	145	76	48	1	22	13		24	8	2	8	6	4
6月	157	94	48	1	22	18		23	7	14	1	1	12
7月	138	85	45	2	28	14	3	11	1	3	9	6	19
8月	122	61	38	4	41	24	16	9	5	15	5	3	15
9月	98	53	40	0	42	24	11	11	2	3	11	7	17
10月	64	35	22	3	30	23	5	12	5	6	10	4	14
11月	59	33	29	0	26	12	7	13	1	2	7	3	9
12月	49	21	17	0	28	10	12	13	1	4	4	4	19
1月	40	19	17	0	21	16	2	2	0	8	4	5	12
2月	75	32	21	3	44	15	5	3	0	12	6	1	19
3月	132	43	31	5	89	28	9	13	1	0	5	3	7
累計	1191	619	404	22	415	199	70	152	32	75	81	49	152

緊急小口資金 404 件 72,770,000円
 総合支援資金 199 件 103,280,000円
 総合支援資金 延長 70 件 37,350,000円
 総合支援資金 再貸付 54 件 25,440,000円

令和2年度貸付金総額 238,840,000円

(5) 墓地清掃サービス事業

墓の清掃やお参りが困難な方々のために、就労に向けて相談をしている方々が清掃を代行しました。

利用者	回数	内 容
高齢者（宮城県在住）	年2回	お盆前の清掃・彼岸前の清掃
遠距離者（兵庫県在住）	年3回	お盆前の清掃・秋彼岸前の清掃・春彼岸前の清掃
高齢者（黒羽在住）	年2回	お盆前の清掃・春彼岸前の清掃
高齢者（黒羽在住）	年2回	お盆前の清掃・春彼岸前の清掃
高齢者（中央市内）	年1回	お盆前の清掃
高齢者（埼玉県在住）	年1回	秋彼岸前の清掃・供花・御線香
遠距離者（東京都在住）	年1回	お盆前の清掃
7名	12回	

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援、書類等預かりを行う日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和2年度状況	利用者数	備考
年度当初	86名	
新規契約	8名	
解約	11名	死亡6名、施設管理1名、自己管理4名
令和2年度末現在	83名	

・専門員 2人 ・生活支援員 26人（社協職員7人含む）

（内訳：大田原12人、湯津上5人、黒羽9人）

・主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和2年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	17,891,880円	18,780,407円	95.27%
年間延べ利用者数	726人	722人	100.55%
月平均利用者数	61人	60人	100.55%
ホームヘルパー数	16人	18人	88.89%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	令和2年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,000円	4,000円	200.00%
年間延べ利用者数	1人	1人	100.00%
月平均利用者数	0.08人	0.08人	100.00%

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○障害福祉サービス（居宅介護）

	令和2年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	9,571,624円	7,820,335円	122.39%
年間延べ利用者数	258人	285人	90.53%
月平均利用者数	21.50人	23.75人	90.53%

○同行援護サービス

	令和2年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	872,364円	672,806円	129.66%
年間延べ利用者数	59人	65人	90.77%
月平均利用者数	4.92人	5.42人	90.77%

○移動支援

	令和2年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	85,150円	321,362円	26.50%
年間延べ利用者数	4人	14人	28.57%
月平均利用者数	0.33人	1.17人	28.57%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子などを無償貸与しました。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	47件	74件	22台	35台
湯津上支所	0件	4件	0台	3台
黒羽支所	39件	29件	13台	14台
計	86件	107件	35台	52台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

○リフト付き自動車貸出件数 47回（申請 50件）

(3) 軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

○軽トラック貸出件数 7件

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また6名の委員による第三者委員会を設置しています。

(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として市から事業を受託しました。

新型コロナウイルスの感染防止のため、与一いきいきメイト養成講座は中止しました。

○与一いきいきメイト登録者 94名

○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター等 25箇所

○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 9月14日 午後13時30分～15時40分

場 所 大田原市役所 市民協働ホール

参加者 与一いきいきメイト 28名

内 容 ・講話 感染症対策について ・与一いきいき体操

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会

1 開催日時：令和2年5月25日（月）午前10時～12時を予定したが、書面決議を実施

2 会 場：~~大田原市役所 301会議室（3階）~~

報 告

報告第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執状況報告について

報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要領の一部改正について（専決事項）

議 案

議案第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会常務理事の選任について

議案第2号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について

議案第3号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第4号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報告の承認について

議案第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の制定について

議案第6号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について

議案第7号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第 10 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 1 回評議員会の開催について

第 2 回理事会

1 開催日時：令和 2 年 12 月 16 日（水）午後 1 時 30 分～3 時

2 会 場：大田原市役所 南別館 2 階会議室

報 告

報告第 3 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の制定について（専決事項）

報告第 5 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰の実施について

議 案

議案第 11 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）について

議案第 12 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 13 号 令和 2 年度大田原市社会福祉協議会善意銀行配分について

議案第 14 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 2 回評議員会の開催について

議案第 15 号 苦情解決第三者委員の選任について

第 3 回理事会

1 開催日時：令和 3 年 3 月 11 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

2 会 場：大田原市文化会館 1 階 会議室

議 案

議案第 16 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

議案第 17 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 18 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 19 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 20 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 21 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 22 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第 23 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第 24 号 令和 3 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第 25 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第 3 回評議員会の開催について

評議員会

第 1 回評議員会

1 開催日時：令和 2 年 6 月 15 日（月）午前 10 時 00 分～12 時

2 会 場：大田原市役所 301 会議室（3 階）

報 告

報告第 1 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要領の一部改正について（専決事項）

議 案

議案第 1 号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）について

議案第 2 号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 3 号 令和元年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報告の承認について
=監査報告=

議案第 4 号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会再雇用職員取扱規程の制定について

議案第 5 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について

議案第 6 号 令和 2 年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員の改選について

第2回評議員会

1 開催日時：令和2年12月25日（金）午後1時30分～3時

2 会 場：大田原市役所 101 会議室（市民協働ホール）

報 告

報告第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の制定について（専決事項）

報告第3号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰の実施について

議 案

議案第7号 令和2年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について

議案第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

第3回評議員会

1 開催日時：令和3年3月24日（水）午後1時30分～3時

2 会 場：大田原市役所 101、102 会議室

議 案

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程の制定について

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会安心生活見守り事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第17号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第18号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

○会員加入の状況（令和2年度）

会費の種類	会費1口	会員数	会費納入額	前年比
普通会员	500円	15,846世帯	7,923,000円	99%
特別会費	1,000円	639件	1,043,000円	104%
賛助会費	5,000円	33施設	175,000円	106%
計			9,141,000円	103%

2 社会福祉法人連絡会

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

(1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容

① 設備、備品の貸出

法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。

② 地域出前講座講師派遣

法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。

③ ふくし総合相談

法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。

④ 広報活動

サポートガイド、広報紙の発行

(2) 社会福祉法人連絡会の参加法人

(福) あいのかわ福祉会（那須共育学園 他）

(福) ^{あんねい}安寧（山百合荘 他）

(福) エルム福祉会（エルムの園、SELPみなど、ヒカリノカフェ 他）

(福) ^{けんしん}謙心会（にちにち荘 他）

(福) ^{ここみかい}心美会（保育園 ベビーエンゼル）

(福) ^{しせいかい}至誠会（^{せいふうえん}晴風園）、みどりの郷）

(福) ^{せんこまかい}千駒会（おおたわら保育園）

(福) ^{しょうゆう}章佑会（やすらぎの里、若草園 他）

(福) ひかり会（ひかり のぎき保育園、ひかり うすば保育園）

(福) フレンズ会（保育園 チャイルド）

(福) ^{ほうゆうかい}邦友会（風花苑 他）

- (福) ^{まど}窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)
- (福) ^{どうあいかい}同愛会 (四季の風 かねだの郷 他)
- (福) 大田原市社会福祉協議会

3 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

令和2年度 預託の状況

①金銭預託

	科目	金額	預託者(敬称略)		
収入の部	前年度繰越金	4,552,243 円			
	預託金額	8,538 円	宅原 政子		
		120,000 円	大平 賢一		
		5,200 円	匿名		
	預金利息	45 円			
	合計	4,686,026 円			
金銭預託	支出の部	科目	金額	配分先	
		配分金額	217,600 円	市ボランティア連絡協議会 166,400 円	
				大田原市障がい児者等保護者会 51,200 円	
			120,000 円	両郷地区社会福祉協議会 30,000 円	
				須賀川地区社会福祉協議会 30,000 円	
				黒羽地区社会福祉協議会 30,000 円	
		川西地区社会福祉協議会 30,000 円			
合計	337,600 円				
収入支出差引残高	4,348,426 円				

② 物品預託

	寄付者氏名(敬称略)	預託物品		用途
1	(株)エヅリン 江連 秀夫	圧力IHジャー炊飯器	1個	生活困窮世帯へ配布
		自転車	1台	
		文具	一式	
2	(株)ダイナム栃木大田原店	食料品	一式	フードバンクへ寄付
3	キヤノンメディカルシステムズ労働組合 キヤノン電子管デバイス労働組合	タオル	100本	福祉施設・保育園へ配布
4	キヤノンメディカルシステムズ労働組合	介護用おむつ	2袋	福祉施設へ配布
		布マスク	50セット	備蓄
5	株式会社四季 代表取締役 藤田 善幸	サーモカメラ	1台	預託者希望により本所で使用
6	(株)奈良スポーツ 代表取締役 奈良靖久	アルコール消毒剤	10本	生活困窮世帯へ配布
		マスク	1,000枚	
7	匿名	介助式車いす	1台	貸出用として使用
		杖	1本	
8	高桑 利明	ガーゼ	1セット	備蓄
		サージカルマスク	50枚	
		ハンドジェル	2本	
		マスク	11枚	
		マスク	30枚	
9	国際医療福祉大学	リッツ保存缶	600個	生活困窮世帯等へ配布
10	黒谷 岳	足踏み式消毒液スタンド	1台	社協黒羽支所に設置
11	黒澤 豊	加湿空気清浄機 シャープKI-LS70	1台	預託者希望の社協黒羽支所で使用
		タオル	75本	
12	佐々木 正則	ベビー布団セット	1組	福祉施設・保育園へ配布
		手作りマスク	170枚	
13	三寿会女性有志一同	手作りマスク	170枚	福祉施設へ配布
14	青木 勝吉	子ども用靴	8足	生活困窮世帯へ配布
15	大田原グラウンドゴルフ愛好者	布マスク	60	備蓄
		手作りマスク	30	備蓄
		マスク	83	備蓄
16	大田原ロータリークラブ	マスク	1,000枚	見守り対象者へ配布
17	大田原市ボランティア連絡協議会黒羽支部	手作りマスク	20枚	見守り対象者へ配布
18	大田原中央ロータリークラブ	手作りマスク	470枚	見守り対象者へ配布
19	塚本 慎弓	タオル・手ぬぐい	150本	福祉施設・保育園へ配布
20	田代 幸子	手作りマスク	50枚	福祉施設へ配布
21	田中 ヨシ	手作りマスク	66枚	福祉施設へ配布
22	渡辺 トシ子	手作りマスク	50枚	備蓄
23	藤田 カツノ	手作りマスク	360枚	福祉施設へ配布・子ども用は備蓄
		シトラスリボン	1,000個	市民等へ配布
24	藤田 ヨシエ	古着	30着	生活困窮世帯へ配布
25	栃木県立大田原高等学校JRC部	マスク	101枚	備蓄
26	奈良 靖久	足つぼふみふみ	60個	配布予定
27	野田新聞店(株)ノダネットワークサービス	車いす	1台	貸出用として使用
28	(株)萬美タオル 相田布美子	手ぬぐい	1,800枚	給食サービス利用者等高齢者へ配布
29	山崎 裕子	シトラスリボン		市民等へ配布

(2) 大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

No.	寄付者氏名	寄付金額	令和2年度累計
1	匿名	2,000円	2,000円
2	匿名	5,000円	7,000円
3	匿名	3,000円	10,000円
4	匿名	10,000円	20,000円
5	匿名	200,000円	220,000円
6	匿名	5,200円	225,200円
7	株式会社エヅリン 代表取締役 江連秀夫	4,944円	230,144円
8	大森 幸次	200,000円	430,144円
9	匿名	1,000円	431,144円
10	斉藤 信恵	10,000円	441,144円
11	斉藤 哲夫	10,000円	451,144円
12	株式会社エヅリン 代表取締役 江連秀夫	7,714円	458,858円
13	赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン	78,880円	537,738円
14	築地ゴルフ愛好会	6,563円	544,301円
15	大田原市文化協会 ステージ部 花柳喜乃治	35,000円	579,301円
16	那須スポーツパークグラウンド・ゴルフホールインワン基金	34,000円	613,301円
17	栃木県立大田原高等学校生徒会	50,000円	663,301円
18	匿名	1,000円	664,301円
19	西那須野幼稚園	20,000円	684,301円
20	スターライト友の会 星里美	4,987円	689,288円
21	黒羽商工会青年部	43,542円	732,830円
22	匿名	10,000円	742,830円
23	大田原生活学校 小西久美子	30,000円	772,830円
24	匿名	10,000円	782,830円
25	大田原市立親園中学校第16回卒とげうお会	132円	782,962円
26	株式会社エヅリン 代表取締役 江連秀夫	7,452円	790,414円
27	匿名	1,000円	791,414円
28	国際医療福祉大学ローターアクトクラブ	44,000円	835,414円

(3) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○ 基金運用状況

科目	金額	摘要
前年度末基金原資残高 ①	201,273,620円	
令和2年度 寄付金額 ②	19,061円	向山弘一 5,200円 日本キリスト教団西那須野教会 10,000円 募金箱（大田原商工会議所） 3,861円
預金利息 等 ③	1,407,387円	国債、公債利息 1,394,000円 定期預金利息 13,275円 普通預金利息 112円
区分間繰入金支出 ④	6,406,568円	令和2年度原資取崩額 5,000,000円 預金利息分繰出 1,406,568円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	196,293,500円	定期預金等へ繰出

(4) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行ないました。令和2年8月31日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○令和2年度共同募金実績一覧

(単位：円)

募金名	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	16,045件	5,626,420円	5,318,000円	308,420円	105.80%
特別募金	1,171件	2,996,668円	2,703,000円	293,668円	110.86%
学校募金	49件	519,999円	338,000円	181,999円	153.85%
街頭募金	29件	178,731円	201,000円	-22,269円	88.92%
職域募金	60件	558,427円	522,000円	36,427円	106.98%
イベント募金等	38件	305,131円	224,000円	81,131円	136.22%
合計	17,392件	10,185,376円	9,306,000円	879,376円	109.45%

令和2年度募金からの配分：令和3年度の配分予定は6,882,376円

○共同募金配分金事業

令和2年度は実績に応じて、県共同募金会からB募金配分6,427,100円、指定配分300,000円（安心生活支援プロジェクト配分）が大田原市社協に配分されました。

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

審査委員会

令和3年1月22日（金）書面審査を実施しました。

☆助成対象（助成は令和3年度に実施します。）

NO.	団体名	申請事業	申請金額
1	おひさまの会	佐良土小学校絵本読み聞かせ・クリスマス会（シトラスリボン啓発活動）	50,000円
2	スマイルハウスボランティア会	ひとり親・生活困窮者への食事提供	50,000円
3	いずみの会	福祉施設訪問による交流ととんぼだんごづくり	50,000円
4	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円
5	富士見ハイツ自治会	高齢者を対象にした食事会	50,000円
6	佐久山地区外出支援事業	佐久山地区外出支援事業	50,000円
7	紫塚ニュータウン自治会 （べっぴんさー9る）	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円

令和2年度に事業に取り組んだ団体

	団体名	申請事業	申請金額
1	紫塚ニュータウン自治会 （べっぴんさー9る）	紫塚ニュータウンほほえみ事業	50,000円
2	むつみ会 （那須赤十字病院看護部）	マタニティクラス	50,000円
3	富士見ハイツ自治会	高齢者並びにひとり暮らし高齢者を対象とした食事会の開催	50,000円
4	佐久山地区外出支援事業	外出支援事業	50,000円
5	一般社団法人えんがお	えんがおベンチプロジェクト	50,000円
6	いずみの会	施設訪問による交流	50,000円

○赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン助成事業

新型コロナウイルス感染の影響が長期化するなかで、共同募金会では、経済的な困難から衣食住が十分に確保できない人、居場所を失い孤立を深めている人を支える活動を応援する「支える人を支えよう！赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」を実施しました。

本市では、「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援 全国キャンペーン」の助成を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、会員が楽しみにしている行事や発表の場がなくなっていることから、戸惑いながらも努力している大田原市障がい児者等保護者会へ、「黒羽藍染紺屋」の協力を得て、藍染バンダナを贈りました。

3 その他

(1) 経営理念の策定について

本会の経営理念について、下記のとおり策定作業を行いました。

- 目 的 大田原市社協の将来に向けて、組織としての明確な理念を作り、社協が目指す方向性や、存在意義を地域住民に示し、地域からの信頼を得る。
- 策定方法 組織を横断したプロジェクトチーム（メンバー6名）を結成し、内容の検討は、職員全員で検討しながら取り組んだ。
- 策定期間 令和2年11月～令和3年5月中旬
- 内 容 (1)大田原市社協を取り巻く現状と課題の把握
(2)研修会（講義、グループワーク、視察）の開催
(3)職員・役員等からの意見聴取
(4)将来の社協活動を見据えた今後の取り組みの検討 など

(2) 被表彰者について

(敬称略)

◎栃木県社会福祉協議会会長表彰

令和2年8月24日（月）第26回栃木県民福祉のつどい

民生委員・児童委員功労者 谷邊 範夫 矢野目 照子
福祉施設・団体関係功労 両郷地区社会福祉協議会
黒羽地区社会福祉協議会
川西地区社会福祉協議会
須賀川地区社会福祉協議会

◎栃木県知事表彰

令和2年8月24日（月）第26回栃木県民福祉のつどい

ボランティア功労 両郷地区給食ボランティア

栃木県共同募金功労 折橋 昇

◎栃木県共同募金会会長表彰

令和2年8月24日（月）第26回栃木県民福祉のつどい

齋藤 憲二 磯 親芳 金房 信雄 竹村 正一

鵜巢 隆美 斉藤 綾 本多 房雄 花塚 洋治

◎大田原市社会福祉協議会会長表彰

令和2年10月20日（火）

(故)廣瀬 憲一 小林 久子 弓座 一夫 佐藤 和夫

田口 恭子 小藤 悦子

コスモスグループ 須賀川ボランティア 調理ボランティア

◎全国社会福祉協議会会長表彰

令和2年11月13日（金）全国社会福祉大会

社会福祉協議会優良活動 大田原市社会福祉協議会

福祉教育（ふくし共育）推進事業